

東日本大震災などからみる要援護者支援の課題 ～車いす体験で障がい者の視点を体験しよう～

愛知県で「人にやさしい街づくりの推進に関する条例」が定められて18年が経ちました。ユニバーサルデザインといった言葉も、日常生活でよく耳にするようになり、まちの中には、あらゆる人が使いやすく設計されたデザインが当たり前のようになり、人々の意識も変わってきています。一方で、実際の建築物には障がい者の視点に立ったデザインとは言えないものも数多くあります。また、いざ、車いすなどの方が困っている場面に出会っても、どう対応すればわからず、そのまま素通りしてしまうこともしばしば見受けられます。

また、昨年の東日本大震災の被災地では、障がい者への支援について様々な課題が明らかになり、平時からの備えの重要性が認識されるようになりました。

そこで、今回の交流会では、「楽しくなければ福祉じゃない!」を合い言葉に、「どんなに障害が重くても生まれてきてよかった」と思える社会づくりをテーマに掲げて活動しているAJU自立の家の、専務理事である山田昭義様に「東日本大震災などからみる要援護者支援の課題」をテーマに講演いただきます。

また、講演に先立ち、障がい者の視点を体験していただくために、車いす体験を実施します。

人にやさしいまちづくりを考えるきっかけとして、是非、ご参加ください。



- 日 時 2012年8月22日(水曜日) 13:00~16:30
- 集合場所 AJU 自立の家
- 住 所 名古屋市昭和区恵方町2-15(裏面の地図を参照してください)
- 行 程

13:00~13:30	車いす体験の説明
13:30~15:00	車いす体験
	暑い時期のため、タオル等の持参をお勧めします。
15:15~16:15	講演 「東日本大震災からみる要援護者支援の課題」
	AJU 自立の家 専務理事 山田 昭義氏
16:15~16:30	質疑応答
16:30	解散

■参 加 料 無料

■参加申し込み(裏面参照)

裏面の申込用紙に必要事項を記載し、事務局までFAXして下さい。

なお、定員(30名)になり次第締め切りさせていただきます。

~~~~~

愛知住まい・まちづくりコンサルタント協議会は、愛知県内を中心に活動するコンサルタントが集まり、職能の確立と専門能力を高めるための活動、コンサルタント業界の市民等への理解促進活動等を行っています。

正会員(50音順): ㈱アール・アイ・エー 名古屋支社 / アルバック㈱地域計画建築研究所 名古屋事務所 / エイアンドピー・コミュニケーションズ㈱ / ㈱エルイー創造研究所 / ㈱国際開発コンサルタンツ 名古屋支店 / ㈱対話計画 / 玉野総合コンサルタント㈱ / (社)地域問題研究所 / 中央コンサルタンツ㈱ / ㈱中部都市整備センター / ㈱東畑建築事務所 名古屋事務所 / ㈱都市研究所 スペーシア / ㈱都市造形研究所 / 三菱UFJリサーチ & コンサルティング㈱ / ランドブレイン㈱ 名古屋事務所 / ㈱連空間設計

■後援: 愛知県(予定)

# F A X 送信票 (052-972-6832)

愛知住まい・まちづくりコンサルタント協議会 2012年8月交流会

「東日本大震災などからみる要援護者支援の課題」参加申込書

●宛 先：愛知住まい・まちづくりコンサルタント協議会事務局/株式会社都市造形研究所  
名古屋市中区丸の内3-6-27 EBSビル6F 担当：細井

●FAX番号：052—972—6831

●電話番号：052 - 972—6832

●申込締切日：2012年8月20日(月)

応募の多い場合にはお断りすることがありますので、お早めにお申込ください。

●E-mail：hosoi@toshizoukei.co.jp

|        |  |
|--------|--|
| ご 芳 名  |  |
|        |  |
|        |  |
| ご 所 属  |  |
| 電話番号   |  |
| FAX 番号 |  |

